

令和6年度 第2回 見附市まちづくり総合会議 議事概要

- I. 開催日時 令和7年1月31日（金）午後1時30分～午後3時00分
- II. 開催場所 見附市役所4階 大会議室
- III. 出席委員 渡邊 誠介委員、原山 義史委員、鈴木 英史委員、徳橋 功委員
高木 信行委員、日山 健一委員、木澤 宇弘委員、重信 元子委員、
鈴木 孝子委員、倉重 圭介委員、遠藤 依里子委員、佐藤 宏子委員
(計12名)

IV. 会議の概要

1. 開会

2. 会議の成立

【事務局】

出欠報告委員の過半数が出席していることから、見附市まちづくり総合会議設置要綱第6条第2項の規定により会議が成立していることを報告する。

3. 市長挨拶

2年ごとに実施している市民アンケートにて「住み良い」、「どちらかと言えば住み良い」とおもってもらえている割合が過去最高となった。まちづくり総合会議にて市政の振り返り、活発な議論をさせていただいていることがこの結果につながった。

見附市は「暮らし満足 No. 1 のまち」を目標に、若者や子育て世代の定住促進、産業・雇用の充実、移住人口増加を図る施策を推進。さらに、医療、福祉、防災、交通の充実を進め、すべての市民が安心して暮らせる環境づくりを目指す。本日の会議では人口ビジョンや市民アンケートの分析、次期総合計画策定について議論が行われる。幅広い視点からご意見をお聞かせいただきたい。

4. 会長挨拶

本日は人口ビジョンについて議論する場面があるが、ここ数年だけでも出生数の減少及び人口減少に伴う少子高齢化は急速に進んでいる。高齢者が多くなってしまい若者が声を上げることができない状況を生み出さないように若者もまちづくりに参加できる環境を整備して欲しい。

また、学生の多くが結婚・恋愛をしたくないと思っている。見附市はこのような若者が恋愛・子育てをしたいと思えるまちづくりをし、子育てをしたい若者を応援できるまちになればと思う。

5. 委員紹介

【事務局】

見附青年会議所理事長の変更に伴い木澤委員が新たに着任した。

6. 議事

(設置要綱第6条第1項に基づき、議事進行は渡邊会長へ)

(1) 見附市人口ビジョンの達成状況と今後の方針について

【事務局】

(資料1) について説明

【渡邊会長】

資料p8の補足として、見附の若い女性は就職を機に都会へ出ていくケースが多いとグラフから読み取れるということと、全国的に東京への移住が増えている傾向から人口が増えていかないと考えられる。

また、全国的に未婚率が大きく増加しており、50歳の3人に1人が未婚であると言われている。今後の課題として未婚率をいかにして下げるかが大事になってくる。

【遠藤委員】

転職活動をした際に見附市の給料の低さに驚いた。この給料では子育てもできないし、子どもも見附に住み続けたいと思わない。東京では初任給30万円という企業も増えてきた。東京の一極集中は当たり前の流れと思う。

【倉重委員】

保育園の子どもに夢を聞くとスポーツ選手など目に見える職業に憧れを持つ印象。子ども達がこういった夢をかなえるためにチャレンジできる環境整備をしていってほしい。

また、移住者に見附を選んだ理由を聞くと「土地が安いから」と答えた方が多かった。土地が安いということは見附に価値が無いと評価されているとも言えるため、これから見附の価値を上げる取組みをすべきと考える。

【木澤委員】

賃金が安いということもあり、働き手が少ないと実感している。見附市外に目を向けると収入の格差も広がっているように思える。見附市内の若い世代が産業団地や市外の条件の良い企業で働くことができるように支援していくことも必要。

【原山委員】

日本の二重構造（大企業と中小企業）、産業構造を変えなければ賃金格差は埋まっていけない。国が構造を変化させる取り組みを行ったときに見附市がどのように対応していくかが重要。

【渡邊会長】

地方の中小企業の多くは高額な掲載料が必要となる大手就活サイトへの掲載が難しく、若い世代への情報発信がうまくできていない。行政は地元中小企業の情報発信の支援をしていく必要があると思われる。

人口減少の問題については課題意識を引き続き持ち、次年度の総合計画策定の際にご意見を改めて頂きたい。

(2) まちづくり市民アンケートの結果概要について

【事務局】

(資料2) について説明

【渡邊会長】

まずは5. 子育ての「父親の職場における子育ての理解」の満足度が低いようだが、このことについて意見をいただきたい。

【重信委員】

見附には市外の企業で働いている方も多いことから、この項目については見附の企業に限った話ではないと思われる。

【渡邊会長】

大学生の中には就活の際に「なでしこ銘柄（女性活躍を推進している上場企業）」を気にしている人がいると聞いた。地方の会社であっても女性が活躍できることや子育てへの理解があるということをネット上で発信していくことで人材確保につながっていくのではないかと大学生から意見があったため情報提供。

【徳橋委員】

学生がこれからの人生設計について考えたときに、正しい情報を参考にして正しい選択をすることができればよいが、それらの情報が届かないことで損をしてしまうのではないかと不安である。そういった面でも情報発信は非常に重要な事であると思う。

【鈴木(孝)委員】

見附市は従業員の少ない中小企業が多く、男性の育休取得が難しいのではないかと考えられる。昔に比べると学校の授業参観に来る父親も多くなり、男性の子育て参加も増えてきたが、まだ足りないと思う。

【佐藤委員】

現在長岡に勤務しており、渋滞など通勤が非常に大変である。これは逆に市外から見附に通勤してくる方にも言える事であることから通勤のしやすさの改善が地域としての魅力向上につながると思う。

また、市外の方から見附は魅力的な施設もあり、とてもいい所であると言われる。見附に住んでいる人がもっと魅力を発信して欲しいと思う。

【日山委員】

資料内 4－2 の「働き場所の豊富さ」の満足度が低いことについて、以前は繊維産業が好調で働き場所は充実していたと思う。しかし、産業構造の変化により繊維産業に代わる産業を育てることができなかった。ただ、外部から評価の高い企業はまだ残っていることから、まだ巻き返すことのできるポテンシャルはあると思う。

【高木委員】

資料内 2－2 性別年齢別の回答について 10 代の回答が 2 名しかいないが「どちらかと言えば住み良い」と答えた方の割合が 100 % になっている。

今後ポジティブなまちづくりをイメージするような展開ができると満足度も上がっていくとともに、10 代の回答も増えていくのではないかと思う。

【鈴木(英)委員】

共働き世帯が増えてきたこともあり、高齢者が子どもの送迎など子育てに関わる場面が増えてきたと思う。

【渡邊会長】

子育て世代は高齢者のサポートを必要としている一方、高齢者にとっても子育ての参加が生きがいとなっており、両者ともに持ちつ持たれつの関係になっているのではないかと考えられる。。子育て世代も高齢者も大変だと思うがどちらも余裕を持って楽しく生活できる環境を作っていくために今後議論をしていきたいと思う。

【渡邊会長】

これまでの議事を通して質問や意見があればお願いしたい。

【鈴木(孝)委員】

資料 1 p 9 の人口が増加している市町村が聖籠町のみとなっている。聖籠町は子育てしやすい新潟県内の市町村 1 位だったと思う。東港があり財政的に豊かであることが理由の一つとは思いますが、女性が活躍できる職業があるかと言われるとそうとは思えない。実施している施策を研究し、取り入れることも検討すべき。

【事務局】

聖籠町の資料が手元にないことから推測にはなるが、立地上新潟市の魅力ある企業に働きに出ている人が多いのではないかと考えられる。見附とは条件が異なるため、一概に聖籠町の施策を取り入れることは難しいが、参考にできる事は取り入れることも検討していきたい。

【原山委員】

子育てしやすい市町村 1 位は燕市だったような気がするがどうだったか。

【事務局】

データが手元に無いためはっきりとは分からないが、どの市町村も子育て施策には力を入れており、その時々によって順位が変わっているのではないかと思われる。

【遠藤委員】

中心部に住んでいない人たちにとって子どもの送迎がかなり負担になっている。部活動の地域移行も始まるが、送迎ができないことによってやりたいスポーツができない可能性も出てくる。もう少し移動のしやすさに力を入れてほしい。

【渡邊会長】

国としても uber のようなアメリカの仕組みを日本型で取り入れようとしているが、既存のインフラとの兼ね合いなどから難航している。

見附はコミュニティワゴンのような先進的な取り組みをしているが毎日のように活用はできないため再検討が必要。

【渡邊会長】

その他質問や意見があればお願いしたい。

《なし》

無いようなので、これにて各議事を終了とする。

(以降の進行は事務局による)

7. 報告

(1) 次期総合計画策定に向けた進め方について

【事務局】

(資料3) について説明

質問や意見があればお願いしたい。

《なし》

(2) 見附市 SDG s 未来都市計画の実績報告

【事務局】

(資料4) について説明

質問や意見があればお願いしたい。

《なし》

【事務局】

次第の内容については以上で終了となるが最後に本日の総合会議を通して何か質問や意見があればお願いしたい。

【重信委員】

前回の会議にてコミュニティバスの中学生以下の乗車人数を聞いたがその答えを聞きたい。また、要望として資料に元号（令和〇年）で標記されているが、西暦も並べて表示してほしい。

【事務局】

中学生以下のコミュニティバスの乗車人数について、現在手元に資料が無いので今は答えられないが、運転手が把握できた範囲での人数になるため正確な人数ではないことをご了承いただきたい。

また、資料の標記については次回より気を付ける。

【鈴木(孝)委員】

新潟県には2万人程の外国人が住んでいるという新聞記事を見た。見附市には現在繊維産業を中心に外国人の技能実習生などを多く受け入れている状況で、今後も他業種等で今よりさらに多くの外国人を受け入れることが予想される。そのようになった際に地域コミュニティとしてどのように外国人に接すれば良いのか見解をお聞きしたい。

【事務局】

確かに今後さらに技能実習生を受け入れる可能性はあり得る話。そのようになったときにコミュニティに外国人との交流や支援をお願いする可能性もある。もしこのような状況になった場合担当課と相談しながら方針を決定したいと思う。

8. 閉会

【事務局】

令和6年度のまちづくり総合会議は本日で最後になる。令和7年度は次期総合計画策定に向けた「まちづくり総合審議会」を設置する予定。4月頃に審議会の委員委嘱の依頼をさせていただくとともに、年間5回程度の会議を予定している。日程等の詳細については後日改めて連絡する。次年度も引き続き見附市の将来のためにお力添えいただきたい。

以上